

# 2012年4月1日公益財団法人へ いのち輝く心豊かな社会をつくるために

法人名を「公益財団法人熊本YMCA」へと変更いたしました。この変更は、2008年12月に国の公益財団法人に関する新たな法律が施行されたことを受け、全国のすべての財団法人や社団法人が「公益財団法人」か「一般法人」のいずれかへ移行することが求められたことによります。公益財団法人として認められるためには、不特定かつ多数の人々の利益の増進に寄与する事業を行っていることが求められます。そのような意味で、今回の公益財団法人としての財団法人熊本YMCAの認定は、あらためて営利企業とは違うことが明らかにされたことを意味します。

財団法人熊本YMCAは、4月1日をもって、法人名を「公益財団法人熊本YMCA」へと変更いたしました。この変更は、2008年12月に国の公益財団法人に関する新たな法律が施行されたことを受け、全国のすべての財団法人や社団法人が「公益財団法人」か「一般法人」のいずれかへ移行することが求められたことによります。公益財団法人として認められるためには、不特定かつ多数の人々の利益の増進に寄与する事業を行っていることが求められます。そのような意味で、今回の公益財団法人としての財団法人熊本YMCAの認定は、あらためて営利企業とは違うことが明らかにされたことを意味します。



総理事  
堤 弘雄

# THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION YMCA KUMAMOTO NEWS April 2012 vol.479 4



学びや巣立つ YMCA学院高等学校卒業式

- C O N T E N T S**
- ① 公益財団法人熊本YMCAとして新たなスタート
  - ② 震災から1年—追悼と復興への祈り
  - ②・③ REPORT カンボジア視察/グローバル教育研修/水前寺幼稚園発表会/生涯学習セミナー
  - ③ HIPHOP発表会/ミュージカルY!公演 アガベNo.73「喜びに満たされた人生」
  - ④ Life 第45回 テーマ「ひきこもり」熊本ランチ② Topics 一新小/上通アーケード/中国語教室朋友

熊本YMCAは創立から64年間、今日に至るまで非営利の公益団体として、神様から与えられた一人ひとりのいのちが大切にされる社会をつくることを目指して活動してきました。今回の公益財団法人に関する法律の施行は、私たち熊本YMCAにとって、理念と実際の活動の間に開きがないかを再点検する意味でもよい機会であったと思っております。

さて、公益財団法人への移行の機会に、熊本YMCAが2012年度に取り組み、5つの強調点が3月の常議員会で確認されましたので、ご報告いたします。

- ① 熊本市と防災協定を結び、公と民が協働して人々の命を守る働きを強める。また、地域YMCAにおいては災害時の支援に対応できるよう備えを行う。
- ② ICR・メンバーシップ委員会を中心に維持会員の増強キャンペーンを実施する。地域YMCAにおいてはメンバーシップ・バイ・デザインに積極的に取り組む。
- ③ 担い手会員を育成するために、メンター制度を活用すると同時に、YMCAを理解する上で必要な原体験ができるような活動の機会をつくる。
- ④ 他団体とのネットワークを広げ情報の共有化を図ることにより、YMCAが行う様々な催しにより多くの人々を招くことができるよう努力する。
- ⑤ 常設の募金委員会(ファンド・レージング委員会)を設置して、寄付文化の醸成に努める。

今回の公益認定を機に、熊本YMCAに与えられた使命を再確認して、皆様の期待に応えていきたいと思っております。

熊本YMCAは公益財団法人・学校法人・社会福祉法人の3つの法人が同じ使命を担って活動

## わたしと聖句

フィリピの信徒への手紙3章12節  
わたしは既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっていないわけでもありません。

### 我未だ完成せず

この4月に兵庫県の播州赤穂で同窓会があり、出席することにしました。その同窓生の一人が囲碁が好きで、6年前、検定試験を受けアマチュアの6段と認定されたそうです。しか

し、7段になったなら返上する予定だと話していました。その理由を尋ねると、「向上が終わりとなる、さらに向上したい」と話していました。

向上といえば、俳優の藤岡弘をご存じでしょうか。昨年40周年を迎えた、あの「仮面ライダー」役の藤岡弘です。

ある日、ある新聞を見てみると、名前の後に、「」がついていたのに気づき、調べてみました。彼の言い分によると、「まだまだ未熟者で、修練を積む必要がある。安住することなく、多く

の人や書物などから謙虚に学ぶ。我未だ完成せず」という思いを表すためにつけているとのことでした。

4月は新しい出発の季節です。学生は上の学びを、社会人になる人も、過去に様々な問題を抱えて来た人も、新しく希望に燃えて常に謙虚に貪欲に学んでほしいものです。家庭の主婦も例外ではありません。

日本アッセンブリーズオブ・ゴッド教団熊本聖書教会  
長澤 忠雄

さて、現代の青少年の抱える課題として、社会性や人間関係能力の欠如などがあります。そして、その根底には自尊心の不足があり、自分と同時に他者をも愛せない現実があります。

また、次の世代を担う人材を育てる上の課題として、地球規模での環境、平和、人権などの課題を共有し、地域で解決する地球市民としてのあり方を若者に伝える必要があります。

このように熊本YMCAは青少年が抱える課題と正面から向き合い、すべての人々と共に生きるための働きを強めて参ります。公益財団法人の事業においては、生涯学習を基本に据え、「ウエルネス」「子育て支援」「国際理解・国際教育」にこれまでどおり取り組みます。

このような課題に対応し、YMCAに与えられた使命を果たしていくためには、法人の枠を超えて、幼児教育からスタートして生涯学習へと導いていくことが大切だと考えています。

Y M C A は、子どもから高齢者まですべての人々が多くの仲間と出会い、健康で心豊かな人生を過ごすことのできる場でありたいと思えます。新しい年度も、熊本YMCAは、一人ひとりのいのちが大切にされる、心豊かな社会をつくるために新たな歩みを進めて参りますので、今後とも皆様のご支援をお願いいたします。

熊本YMCAの使命  
熊本YMCAは、熊本バンドの精神をうけつぎ、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざに励み、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願ひ、すべての人々がひとつとなるための働きを行います。

- 《共に生きる社会》人のいたみを感じ、互いに分かち合い、ともに生きる社会の実現に努めます。
- 《地球環境の保全》人と自然がともに生きていく地球環境を大切にします。
- 《生涯学習の推進》すべての人々が、出会いを通していつも学びながら成長できる場と機会を提供します。
- 《ウエルネス活動》生涯にわたり心とからだの健康をつくり保持する活動を展開します。
- 《ボランティア活動》地域や国際社会に貢献できるリーダーを育成し、ボランティア運動の輪をひろげます。
- 《平和な世界》アジアの一員としてその歴史に学びつつ、世界の人々とともに平和で豊かな世界の形成に努めます。

# 3.11 震災から1年

## 犠牲者の追悼と 復興への祈り



死者行方不明者約1万9000人。日本を襲った大震災は、多くの命を奪い、私たちの生活を根底から揺るがすほど大きな衝撃を与えました。震災から一年が過ぎた今も、津波によって生じた大量の瓦礫の処理が進まない被災地で、多くの人たちが困難な状況に置かれています。

熊本YMCAでは、東日本大震災を心に留め、犠牲者の追悼と現地の復興を願う祈祷集会を開催。3月11日(日)、カトリック島崎教会でマルケット・ダニール神父の司式により、カトリック、プロテスタントの教派を超えて執り行われ、復興への祈りが捧げられました。

祈祷会後は、自ら被災地を訪問し復興支援活動にも携わった、熊本YMCA副総主事の寺岡良男さんより、震災発生後からこれまでYMCAを通じて取り組んできた支援活動について報告も行われ、映像やメッセージを通して、出席者一同が復興へ向けた継続した支援の必要性を再確認しました。

### 被災者支援 キャンプを開催

2月26日(日)、被災者支援活動の一環で、九重森林公園スキー場を会場に「ファミリー雪あそびデイキャンプ」が開催されました。これは、三菱商事株式会社「キッズ・スカラシップ」の助成と、熊本YMCAに寄せられた募金をもとに実現したもので、熊本に避難している被災者を支援する「熊本被災



者支援プロジェクト」を通じて参加を呼びかけ、当日は15家族45名が参加。雪遊びやスキーを楽しみました。

参加者からは、「避難されている別のご家族とも知り合うことができ、心安らぐ一日を過ごせました」「生活に余裕がなく、休みの日にもあまり外出していませんでした。楽しいキャンプでした」などの感想が聞かれました。



また、同日に被災地の復興を支援しようとジュニアサッカー交流戦が開かれ、熊本YMCAをはじめとする県内7つのサッカークラブチームが参加。今後、集まった募金や参加費をもとに購入されたサッカーボールやビデオメッセージが現地へと届けられる予定です。

### ピクニックで会員交流 避難家族との交流も

3月20日(祝・火)、YMCA会員交流会「ファミリーピクニック in ASO」が開催され、YMCAの活動を支える運営委員やプログラム参加者など、様々な立場でYMCAに集う36名が参加しました。

バスに揺られ目指したのは、南阿蘇。車内では自己紹介やレクリエーションなど、にぎやかな時間を過ごしました。目的地の南阿蘇ふれあい農園に到着すると、東日本大震災の影響で熊本に避難している家族らと合流し、いちご狩りにチャレンジ。摘みだてのいちごをほお張り、「甘酸っぱい」との声が上がりました。

次に、一同は阿蘇YMCAへと向かい、バーベキューの準備。総勢約80名が交流を楽しみながら、阿蘇あか牛肉や手作りのいちごジャムを塗った炭火焼トーストなどを堪能しました。



# REPORT

### カンボジアYMCAの活動を視察

■期間/2月18日(土)～23日(木)  
■場所/カンボジア

むさしYMCAが中心となってカンボジアの子どもたちを支援しようと、むさしYMCA運営委員長の米村謙一さんと2人で、プノンペンにあるカンボジアYMCAを訪れ、その社会活動の現場を視察しました。

カンボジアYMCAは、急速な発展に取り残されたようなスラムの子どもたちや高齢者の支援活動を中心に行っています。(写真はスラムにあるYMCAの学校・ストリートチルドレンプロジェクト)今年度はユース対象のプログラムや国際キャンプ等も計画されています。むさしYMCAでは、今後共に取り組む活動に向けて、可能性を探っていきます。



大宅登貴子

### ユースが語り合う平和・非平和

■期間/2月25日(土)～26日(日)  
■場所/六甲山YMCA

中国本地区YMCAのグローバル教育研修会に、熊本から国際ユースボランティアの2名が参加しました。テーマは「平和をつくりだすこと」を知る、考えよう、伝えよう。街や学校、家庭など身の周りにおける「非平和」な状況について話し合いながら、多様性や自由、行動力、いのち、教育、絆など複数の項目から、より平和にとって重要なものは何かをディスカッション。また、平和な空間をグループごとに表現しました。研修を通して、人によって様々な見方・考え方があること、いじめや環境破壊など身近な非平和を変えていくことが平和につながることを共有しました。



**アガへ** No.73 総主事 堤 弘雄

**喜びに満たされた人生**

私の好きなトルストイの言葉をご紹介します。

「私は苦しい、そこで私は助けを求むるやうにと神に祈る。しかし、神に仕えるのが私の仕事であって、私に仕えるのが神の仕事ではない。そのことを思い出しただけで、苦しみもたちまち軽くなる。人生の目的が自分の幸福であると思えば、人生は過酷で無意味なものである。だが、人生が自分をこの世におつかわしになった神に仕えることであると素直に認めると、人生は常に喜びに満たされたものになる」。人間の心のありようを考える上で興味深い内容だと思います。さて、ここに書かれている「神に仕える」という意味はどのようなことでしょうか。

聖書のマタイによる福音書25章40節にはこのように書かれています。「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」。では、最も小さい者とは誰のことでしょうか。聖書には最も小さい者の説明として、このように書かれています。「お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ」。

神様に直接何かをするのではなく、自分の周りに存在する困難な状況に置かれている人、支援を必要とする人、弱められた人に手を差し伸べて共に生きることが「神に仕えること」であるということが理解できます。トルストイは、自分の幸福を求めより、誰かを幸せにする生き方のほうが喜びに満たされた人生になるということを私たちに教えてくれています。

**Photo Album**

**HIPHOP発表会**

3月11日(日)

会場/ゆめタウン光の森  
イーストコート

むさしYMCAから6グループ、中央・みなみ・ながみねファミリーYMCAから各1グループが出演しパフォーマンス



**ミュージカルY!**

**東北への想いを込めて公演**

東日本大震災から1年が経った3月11日(日)、ミュージカルY!の第9回公演「青い大地に夢は始まる。」が、ここから。2012年3月11日(日)が熊本市現代美術館アートロフトで上演されました。ミュージカルY!は、不登校やひきこもりの経験のある青少年たちが、演技や歌、ダンスを通して自己を表現しています。

第7回の公演以来、引き続き共演してきた「メイプルサウンズ」の中に、津波で家族を亡くしたメンバーもいて、震災は劇団にとってもつらく悲しい出来事となりました。しかしながら、だからこそ今回もメイプルサウンズと一緒に公演しよう」と決め、東北への想いを込めて公演しています。



込めて、宮澤賢治作「雨ニモマケズ」を歌い、「度十公園林」を彼らならではの解釈で演じました。モチーフとなったのは「オハイオ」で交流のある、仙台在住のシンガーソングライター・あんべ光俊さんの楽曲「青い大地に夢は始まる」。舞台では、主人公「度十」の一番の理解者で、いつも心優しい兄と歌い踊ったり、度十が育てた杉林の中で楽しく遊ぶ子どもたちをYMCA新体操チームが演じるなど、メリハリの効いた演出に大きな拍手が寄せられました。まだまだ続く被災地の試練の時を共に生きていきたいと願うメンバーの思いに、会場も一体となって応える時間となりました。

**水前寺幼稚園の発表会**

日時/2月29日(水)11時~14時半

場所/崇城大学市民ホール

YMCA水前寺幼稚園の発表会「春を待つよ子の集い」が開催され、園児たちは歌や合奏をのびのびと披露しました。



**楽しくエコクッキング  
心と体を磨く生涯学習セミナー**

日時/3月3日(土)10時半~13時

場所/中央YMCA調理実習室

熊本YMCA専門学校運営委員会が、周辺地域の人々の健康増進を目指して取り組んでいる生涯学習セミナー「野菜ソムリエの北亜純子さんを講師に迎え、身近な野菜で作るエコ料理について学びました。当日は、参加者全員で自身魚のホイル焼きなど5品に挑戦。完成後はランチを楽しみながら、油を使わないと洗剤が少なく済みますし、野菜の芯も使うとゴミが減量できます。明日からの料理に役立ちます」などの感想が寄せられました。



# Life

第45回

“いのち”“生活”  
“いきがい”をテーマに  
したメッセージ。



NPO法人熊本プランチ  
武井 敬蔵さん  
圭子さん ②

## 当事者に寄り沿って苦しみを解き、 心に力をつけてもらいたい

私たちの活動の原点は、ひきこもりの当事者の苦しみを解いてあげたいという気持ちです。その中で大切なのは、「何かをしてあげる」のではなく、当事者のすべてを、きめ細かく受け入れることだと思っています。いつまで続くかわからないひきこもりの状態に対し、家族は客観的に見る事ができません。一方の当事者は閉塞感や焦りを感じており、互いに疲れてしまいがちです。

家族や社会の価値観を押し付けず、当事者に安心して生きる幸せを感じてもらえる支援を行い、寄り添うことを考えてほしいと思います。少しでも活動に参加してみよう、話を聞いてみようという気持ちを持ってもらうことが大切です。私たちは人と人が付き合う場所を提供してきました。定期的な活動を続けることで、当事者や経験者に「自分には居場所がある」と思ってもらえればうれしいです。ひきこもりになった原因を探すのではなく、将来に向けて元気になれる場所、心に力がつけられるような、本当の支援を続けていきたいと思っています。



## もう一度、しっかりつなごうecoのコエ！ アースウィークくまもと2012 2012年4月16日(月)～22日(日)

4月22日は地球のことを考え、活動する“アースデイ”(地球の日)。この日を含む一週間、各地で様々な環境イベントが開催され、各地域YMCAでも街や川の清掃や植林など、環境に関する活動が予定されています。

### ●ノーマイカーデー・パレード

CO<sub>2</sub>削減のため、バス・自転車・電車の利用を訴えながら歩きます。  
日 程:4月18日(水)7:30戸井の外公園(水前寺)集合・出発

### ●パネル展

日 程:4月21日(土)・22日(日)  
場 所:サンロード新市街



### ●アースデイ・イベント

日 時:4月22日(日)11:00～17:00 場所:サンロード新市街  
内 容:オープニングセレモニーにYMCA水前寺幼稚園が出演  
エコ積み木、リサイクルワークショップ、水の飲み比べ、  
クイズラリーなど

※来場者限定150名様にゴーヤの苗をプレゼント  
(時間 ①12:30～ ②14:00～ ③15:30～)

お問合せ アースウィークくまもと実行委員会事務局 TEL 096-353-6397  
E-mail earthweek.kumamoto@gmail.com

## TOPICS 地域YMCAにまつわる人・モノ・場所などを順番にご紹介します。

### 一新小学校代表委員

中央



一新小学校と被災地の野蒜(のびる)小学校との交流をYMCAがサポートしています。一新小学校の6年生にYMCAの職員が被災地の状況を報告したところ、その6年生の代表委員が全校生徒に呼びかけ、応援メッセージを送ろうと企画しました。この代表委員5名が、全員のメッセージをYMCAに届けてくれました。そして、それをYMCAが野蒜小学校に届けました。自分たちにできること、みんなの力を合わせようという気持ちに力強さを感じます。この勇気と行動力に敬意を表したいと思います。

中央YMCA 中村賢次郎

### 広がる上通アーケードのWi-Fi

上通



「元気な商店街」として全国に知られる上通アーケードは、通町から並木坂まで全長600メートル。この広いエリアのWi-Fi化が間もなく完了します。

スマートフォン利用者がショッピングや場所の検索にも使えるようにと上通商栄会が企画。このようなハード事業から季節のお祭りまで、まちなか活性化のためのすべての事業が街の有志たちによって企画、運営されているのが上通なんです。上通YMCAはこれからもまちなか活性化を応援します！

上通YMCA 富森靖博

### 中国語教室「朋友」

東部



中国にルーツを持ち、日本に在住している子どもたちを対象にした中国語教室「朋友(ポンヤオ)」を、ご近所にお住まいの項青さんが中心となり、月2回東部YMCAで開かれています。

昨年の「東部祭」では中国語の歌とダンスを発表してくれました。また、保護者が作った中国のだんごも好評で、すぐに完売でした。日本に在住の保護者にとっても、項青さんは頼れる姉のような存在のようです。互いに寄り添い地域と共に支え合いながら、この活動を応援していきたいと思っています。

東部YMCA 永田佳世

## Kumamoto YMCA Network

中央YMCA	☎096-353-6391	ながみねファミリー-YMCA	☎096-385-0676
YMCA学院	☎096-353-6393	むさしYMCA	☎096-248-6334
YMCA学院高等学校	☎096-353-6391	阿蘇YMCA	☎0967-35-0124
本部事務局・ICR	☎096-353-6397	赤水保育園	☎0967-35-0024
みなみYMCA	☎096-378-9370	尾ヶ石保育園	☎0967-32-0213
上通YMCA	☎096-352-2344	永草保育園	☎0967-32-0810
東部YMCA	☎096-382-6661	黒川保育園	☎0967-34-0402
水前寺幼稚園	☎096-362-4141	リフレスおおむた	☎0944-58-7777



## キャラクター・ディベロップメント推進中

熊本YMCAは、キャラクター・ディベロップメントをすべてのプログラムで推進しています。「キャラクター」とは人格、性格の意味で「ディベロップメント」は向上を意味します。

人格の向上に大切な価値として、「CARING」(思いやり)、「HONESTY」(誠実さ)、「RESPONSIBILITY」(責任感)、「RESPECT」(尊敬心)を推進しています。これらの価値は目新しいものではありませんが、子どもたちのコミュニケーション能力を向上させ、人と人の絆をより深めるために、丁寧に伝えていきたいと願っています。なお、2012年度のキャラクターは、責任感のウィリーベアーです。(上田)

【基本聖句】喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマの信徒への手紙12章15節)

熊本YMCAの使命

共に生きる社会  
ウェルネス活動

地球環境の保全  
ボランティア活動

生涯学習の推進  
平和な世界

■ホームページ [www.kumamoto-ymca.or.jp](http://www.kumamoto-ymca.or.jp)

■メールマガジン登録  
[www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi](http://www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi)

